

令和5年度第2回宇部市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和6年2月27日（火）19時～19時40分

場 所：宇部市役所 3階 3-4会議室

出席者：委員11名、事務局12名

議題1「令和6年度宇部市地域包括支援センター事業実施方針（案）について」事務局から説明

〔 委 員 〕：資料2「令和5年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について」の1つ目「介護予防に関する正しい知識の普及と実施」の課題について、北部圏域では介護予防教室の参加人数が少なかったと記載があるが、何か理由がありますか。

【 事 務 局 】：北部圏域では、交通の便が悪く送迎がないと参加が難しいと聞いている。また、一部介入できていない地域については、コロナ禍以降活動を再開していないサロンがある。再開しても活動が少ない所が多いので、今後は地区社協と連携し介護予防の必要性についてアプローチしていく必要があると認識している。

〔 委 員 〕：地域の活動は、コロナの影響を大きく受け活動が停滞していた。新川地区では以前行われていた支え合い会議の活動が停滞していたが、現在では井戸端雑談会という形で高齢者の方の相談を受け始めました。サロンもそれぞれ特徴を活かして様々な設定のサロンが出来つつあるので、ありがたいと思っている。高齢者の方が自由に行ける、友達を通じて一緒に行けるようないろんなサロンを設定していくことを地域で話しているところである。

〔 委 員 〕：実施方針の「社会参加に向けた支援」に、社会的孤立等の課題を抱える人とあるが、孤立している方をどうやってピックアップするか。ピックアップが出来れば支援することができるが、どうやって見つけるかが一番の問題です。見つけることを包括の方をお願いしてもなかなか難しい。地元の自治会の方と巡回しないと見つけ出せないと思う。

【 事 務 局 】：引きこもりの方や孤立している方など支援が行き届かない方を見つけようとした際、包括や福祉なんでも相談員がサロンへ訪問や相談窓口を身近なところに設けたりすることで、少しでも地域の方を顔見知りになり、「あの人少し気になるんだが」とか声があがることで、少しずつ見つけることができると思っている。福祉相談事業が始まって約5年になるが、地域の関係組織とも顔馴染みになり少しずつ「その家が気になる」といった相談が入り始めている。ただ、まだ行き届いていない氷山の一角だと思っているので今後も地域の方と連携しながら把握に努めていきたい。

〔 委 員 〕：包括の相談件数がものすごく増えている。ケアマネと社会福祉士、保健師の皆が共同して初動の対応に追われている現状もある。包括もサービスがあるもの

に対して振ることはある程度できるが、新たに社会資源を探すといった振り先のない方の対応に追われている。包括は次の機関へつなぐ役割だと思っているが、振り先がないとバーンアウトしてしまうのを懸念している。職場で行ったストレスチェックでは、包括職員のストレス度が非常に高かった。なぜストレスを感じるかという「要望に応えられない」「どうしたらよいかわからない」「どうしてあげられたいかわからない」という相談がたくさんある。客観的に見ると何か手を指し伸ばさないといけない方であっても本人が必要としてないケースなど複雑多岐化していることをどのように救ってあげたらよいか。事業計画自体はその通りであっても、運用する側の人間のサポートにも目を向けて欲しいなと思っている。

【事務局】：高齢者人口で後期高齢者人口が増えていく中、今後介護申請が増えていくと考えられるので、包括支援センターや居宅介護支援事業所の負担が増えていくことは認識している。包括支援センターについても業務量の増が考えられるので、困難事例は市と一緒に対応したりスキルアップということで個々に集まって勉強会等行っている状況。また職員の話も聞きながらフォローの方も行っていければと考えている。

〔委員〕：民生委員としていろいろ調査をして、高齢者と接触することが多々ある。包括の連携は取れているが、連携というところで一つお願いがある。自分たちが包括へ情報提供したものがその後の情報が返ってこないため分からない。地域で見守りが必要な人なのかも分からないので、その辺の情報共有があれば支援のお手伝いも可能なので、どこまで情報共有できるかも重要かと思っている。

【事務局】：どこまで情報共有できるかは、内容にもよるかと思っている。地域の見守りという観点からいえば、地域の方と包括支援センターが協力して動く案件については情報共有していきたい。

〔委員〕：「認知症の人と家族の会」でイベントを行うことがあるが、家族会のことや活動内容についてあまり周知されていない。活動内容には相談業務もあり、今まで様々な相談を受けてきたが、近年はそうした相談が県内でも少なくなってきた。家族会の存在を認識されなくなっているのではと思っている。皆さんにもう一度家族会のことを知っていただきたいなと思っている。先ほど包括への相談が多いなら家族会へ振ってもらえれば受けます。

議題1について承認。